

## 今月のトピックス 「チャのミカントゲコナジラミについて」

### 1) チャの新害虫

県内のチャでミカントゲコナジラミが大発生しています、もともとカンキツにつく害虫でしたが、中国でチャにつく系統が発見され、我国でも近畿地方で見られるようになりました。

2004 年 京都府で確認

2006 年 滋賀県、奈良県、三重県で確認

2009 年 島根県で確認

当初は、チャには被害がないと考えられていましたが、すす病の併発が極めて激しいため、チャの生育が阻害されているようです。また、飛び回っている成虫を吸い込んだりして、収穫作業時に不快感があります。

### 2) 形態

卵は長く黄色です。幼虫は孵化した直後は歩き回りますが、やがて葉裏に固着して、白く縁取られたツヤのある黒色の小判型になり、4 齢幼虫は蛹とも呼ばれます (図 1)。成虫の体長は 1.3mm ほど。施設野菜の害虫である白いタバコナジラミと異なり、灰色をしています (図 2)。



3) 生態図 1 卵(a)、幼虫(b)、蛹(c)



図 2 成虫

発生は年 3~4 回です (図 3)。第 3 世代の出る年は 10 月頃に成虫が見られます。

冬	5月	7月	9月
幼虫・蛹	越冬世代 成虫	第1世代 成虫	第2世代 成虫

図 3 発生活長

成虫の寿命は短く、4 日程です。群集する性質があり、8 月には多いところで 1 枚の葉裏に卵が 200 個産まれ、幼虫が 100 頭もいました。

カンキツの系統とは種が異なるかもしれないと言われているので、チャ以外の加害植物はよくわかっていませんが、ツバキでは確認されています。

### 4) 防除の考え方

防除適期は使用薬剤の特性によって異なります。適切な時期に、下層の葉の裏に十分懸かるように散布してください。

寄生ハチ (シルベストリコバチ) が定着すると、激発はおさまるようです。他の害虫も含めて、天敵にやさしい防除体系を検討してください。